

令和6年2月5日
生活文化政策部
高齢福祉部

高齢者の地域参加促進施策の推進状況について

1 主旨

区では、令和2年度より、高齢者の社会的孤立の防止や健康寿命の延伸、閉じこもり防止やフレイル予防の促進を目的に、身近な地域での「居場所づくり」などの5つのプロジェクトで構成する「高齢者の地域参加促進施策」に取り組んでいる。今般、これまでの取組みの評価をふまえ、令和6年度の取組みをまとめたので報告する。

2 令和6年度の主な取組み

別紙1「高齢者の地域参加促進施策 令和6年度の取組み」のとおり

※参考として「高齢者の地域参加促進施策 令和5年度実施状況(令和6年1月現在)」を添付

3 事業経費(令和6年度予算案)

総額 186,627千円

※介護保険事業会計(42,044千円)を含む

4 その他

本施策は、現在策定を進めている「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」において、進行管理を行う。

1 主旨

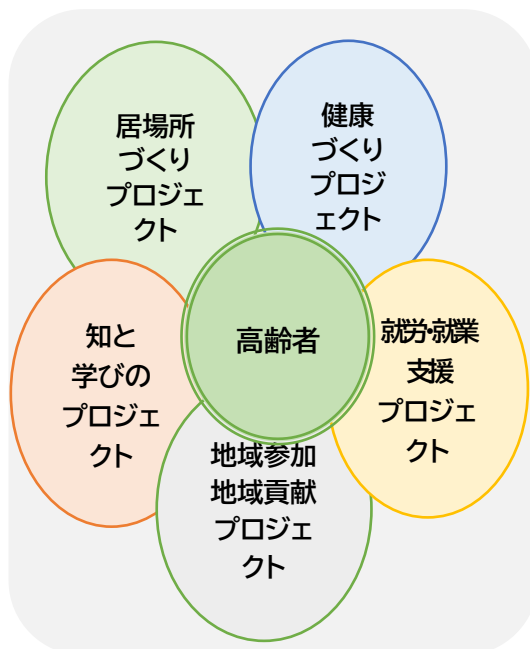
区では、高齢者人口やひとり暮らし高齢者の増加に伴い、社会的孤立の防止や健康寿命の延伸など喫緊の課題に対応するため、令和2年度より、身近な地域での「居場所づくり」「健康づくり」「地域参加・地域貢献」「知と学び」「就労・就業支援」の5つのプロジェクトで構成する「高齢者の地域参加促進施策」を立ち上げ、関係団体の協力のもと全庁的な連携により取り組んでいる。

ポストコロナを見据え、高齢者の活動と参加を一層促進するため、これまでの取組みの評価を踏まえ、令和6年度の取組みを以下のとおり取りまとめた。

2 取組みの視点

- 多様な高齢者の暮らしに着目した施策展開とする。
- 身近な場所でのサービス提供や活動支援とする。
- 一過性の取組みでなく、継続性のある施策とする。
- 社会状況の変化や高齢者ニーズに柔軟に対応する。

3 「5つのプロジェクト」



4 推進体制

区：総合支所、保健福祉センター、生活文化政策部、地域行政部、スポーツ推進部、経済産業部、保健福祉政策部、高齢福祉部、世田谷保健所等

関係団体：(社福)世田谷区社会福祉協議会、(社福)世田谷ボランティア協会、(公財)世田谷区保健センター、(公財)世田谷区スポーツ振興財団、(公財)世田谷区産業振興公社、(公社)世田谷区シルバー人材センター等

事務局：生活文化政策部、高齢福祉部

(1)「居場所づくり」プロジェクト

<ビジョン>

多様な高齢者の暮らしや活動に着目するとともに、加齢による身体機能の低下などを踏まえ、ひとりで、気軽に訪れ、寛げ、話しのできる憩いの場を諸々の資源を活用し提供する。地域包括ケアの地区展開を踏まえた取組みとする。

【これまでの取組み】

参加・体験型プログラムの提供も含め、高齢者が気軽に利用し、交流できる新たな居場所をモデル事業として世田谷、北沢、砧、烏山の4地域で実施している。また、高齢者の孤立防止や仲間づくりの機会となるよう、各種地域資源の連携と活用により、多様な高齢者が気軽に訪れ、寛げ、話しができる場づくりの検討に取り組んでいる。居場所となる場や活動を集約した情報誌を毎年度発行し、まちづくりセンター等に配布し居場所の案内に活用している。

【評価・課題】

- ・モデル事業では、継続利用が多く見られるとともにプログラムへの満足度が高く、居場所へ立ち寄ることが外出のきっかけや人とのふれあいの機会になっているため、引き続きプログラムの提供と合わせた居場所づくりを実施する。
- ・身近な地区における居場所づくりについては、場の確保や運営方法等が課題となっており、モデル事業のほか地域包括ケアの地区展開や地域資源開発の取組みなども参考にしながら、具体的な検討を進める必要がある。

<令和6年度の取組み>

1. 高齢者の気軽に立ち寄れる居場所づくり

(総合支所・生活文化政策部・保健福祉政策部・高齢福祉部等)

○主旨 多様な高齢者の暮らしや活動に着目するとともに、加齢による身体機能の低下なども踏まえ、様々な実施主体や実施場所で、様々なメニューを提供し、ひとりで気軽に立ち寄れる場づくりを進めていく。

【モデル事業】

5地域における多様な居場所づくりの実施。

(玉川地域は令和8年度から実施予定)

- ①千歳温水プール健康運動室を活用した居場所の提供 通年
※参加・体験型プログラム実施 年108回
◆事業実施(公財)世田谷区スポーツ振興財団(指定管理者)
(社福)世田谷区社会福祉協議会
◆事業費 460千円 指定管理者事業分 7,792千円 (社福)世田谷区社会福祉協議会
- ②代田地区会館のロビーや陶芸室を活用した居場所の提供 通年
※陶芸体験プログラム実施 年24回
◆事業実施 世田谷陶芸協会
◆事業費 1,322千円
- ③ひだまり友遊会館「止まり木ステーション」を活用した居場所の提供 通年
※参加・体験型プログラム実施 年60回程度
◆事業実施 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)(指定管理者)
◆事業費 704千円
- ④寺町通り区民集会所のロビーと和室を活用した多世代交流型の居場所の提供 年144回 ※参加・体験型プログラム実施 年48回程度
◆事業実施 NPO 法人 せたがや子育てネット
◆事業費 5,560千円

【地区における居場所づくり】

- 地域資源を活用した地区における居場所づくりについて、関係部の連携により引き続き具体的な整備手法等の検討を行う。
- ・モデル事業の実施状況や地域包括ケアの地区展開における、それぞれの地区特性やニーズをとらえた地域資源の開発
 - ・社会福祉協議会が実施する「ふれあい・いきいきサロン」「支えあいミニデイ」活動
 - ・公共施設(図書館や地区会館のロビー、地区会館の大広間等)の個人利用
 - ・せたがやがやがや館等の高齢者施設の活用
 - ・世田谷トラストまちづくりによる地域共生のいえなどの取組み

2. 居場所についての情報誌発行とLINE等による情報提供

(生活文化政策部、高齢福祉部)

○主旨 高齢者の居場所となっている多種・多様な場や活動を集約した情報誌の年1回発行やチラシ、区報、LINE等広報手段を工夫した情報提供を促進する。

- ・情報誌「いっぽ、外へ、シニアお出かけスポット」発行部数 3500部
- ◆事業費 999千円
- ・情報誌に掲載する情報を区のホームページ等に記載し、区公式LINEを入口として情報を提供

(2)「健康づくり」プロジェクト

<ビジョン>

健康寿命の延伸やコロナ禍の影響によるひきこもり防止やフレイル予防に向け、地域の多様な資源が連携し、継続的に取り組める高齢者向けの健康づくり施策を展開する。

【これまでの取組み】

地域の高齢者向け健康づくりの取組みとして、ラジオ体操や健康体操を実施する団体、高齢者クラブ等を対象に、健康運動指導士等を派遣し、内容の充実や運動指導の定着支援を図る事業を実施している。また、介護予防事業として、介護予防講座のほか、デジタル(スマホ等)を活用したポイントラリーの実証事業を令和5年度に3地区で試行実施し、高齢者の外出促進に取り組んでいる。

【評価・課題】

- ・介護予防事業では、連続講座(6~8回)も実施しており、すべての回に参加することで効果的になるように設計しているが、すべてに参加できない高齢者が増加してきているため、プログラムの見直しを図る必要がある。
- ・デジタルポイントラリー事業は、多様な年齢層や健康状態の参加者に外出機会の増加傾向が見られ、継続要望も多いため、実施方法の一部変更を行いつつ、実施地区を区内全地区に拡大していく必要がある。
- ・高齢者クラブを対象とする運動指導と運動定着支援事業は、個々の会員の関心度が異なるため、参加意欲にばらつきがあり、団体として積極的に活用しようとするクラブが少ない傾向にある。今後は個人への働きかけも必要である。

<令和6年度の取組み>

1. 地域における高齢者向け健康づくりの取組み支援

(スポーツ推進部)

○主旨 地域の高齢者を対象にラジオ体操や健康体操(栄養指導などを組み合わせる)を実施する団体を支援し、主体的な健康づくりや仲間づくりを促進する。

- ① スポーツ振興財団により年1度、総合運動場において「集まれ！みんなでラジオ体操」を実施し、ラジオ体操の更なる普及啓発を図る。
 - ② あんしんすこやかセンターが各地区で実施する介護予防普及啓発講座に、リコーブラックラムズ東京のプロラクビー選手及びスポーツ振興財団より健康運動指導士等を派遣し、内容の充実を図る。
- ◆実施主体 (公財)世田谷区スポーツ振興財団
 - ◆事業費 2,652千円(①1,620千円②1,032千円)

2. 高齢者の団体活動時の健康づくりの定着支援

(生活文化政策部・世田谷保健所)

○主旨 高齢者クラブを対象に各サークル活動の「スキマ時間」を活用して運動習慣の定着に向けた運動指導(スキマ de げんき体操等)を実施する。

・申込状況を踏まえ令和6年度は規模を縮小し、参加クラブへのヒアリング等により事業効果を改めて検証のうえ、令和7年度以降の事業について検討を進める。

◆事業実施 (公財)世田谷区保健センター

◆事業費 1,469千円

3. 介護予防事業(拡充)

(高齢福祉部)

①65歳以上の方を対象に、介護予防に関する普及啓発講座として「はつらつ介護予防講座(年21回×28地区のあんすこ)」、「まるごと介護予防講座(全6回×地区会館等の20教室)」、「お口の元気アップ教室(全8回×8教室)」を実施する。なお、令和7年度に向け、回数等の見直しを検討する。

◆事業費 42,044千円 ※介護保険事業会計

②高齢者の外出を促進するためのデジタルポイントラリー事業を、10月から全地区で展開する。(拡充)

◆事業実施 ジョージ・アンド・シオン株式会社

◆事業費 100,290千円

4. 大学連携事業(拡充)

(生活文化政策部)

○主旨 区内大学と連携し、大学の教授による講義や生徒による身体機能測定を実施し、高齢者の健康への関心を高めるとともに学生と高齢者の交流を図る。

・現在高齢者クラブを対象に実施しているが、地域の高齢者団体へ拡充する。

◆事業実施 日本女子体育大学

◆事業費 338千円

5. 高齢者の健康づくりチャレンジ支援(新規)

(生活文化政策部)

○主旨 体力の維持や向上を目的とした身体活動に消極的な高齢者を対象に、個々人に合わせた運動の提供と定着支援及び参加者間の交流を図り、心身の健康の向上を促す。

・地域の公共施設を会場に、月2回を1クールとし、各回60分で個々に合わせた運動と、シナプソロジー(脳トレ)をとり入れた体操による参加者間の交流を10月から試行実施する。(5地域各2回巡回)(試行状況を踏まえ、令和7年度は1クールを月2回×2カ月にするなどの拡充を検討する。)

◆事業実施 プロポーザルにより事業者決定

◆事業費 3,713千円

(3)「地域参加・地域貢献」プロジェクト

<ビジョン>

高齢者の経験や能力、活動意欲と地域で指導者や活動の支援を求める団体などを結び付け、高齢者の活動の機会を拡充するとともに、地域活動や団体活動の活性化を図る。また、地域への貢献意欲のある高齢者を募集し、つなぎ、活動体としていく。

【これまでの取組み】

「おたがいさまbank」とAIシステムによるマッチングシステム(GBER)を活用したシニアマッチング事業を実施し、高齢者の知識と経験等を活かした地域活動支援やボランティア活動への参加支援を行っている。一方、活動力がある生涯現役ネットワーク加入団体や高齢者クラブが主となり実施する、広く区民を対象とする地域貢献活動に補助金による支援を行っている。

【評価・課題】

・おたがいさま bank と GBER の登録件数は増加しているが、マッチング件数がまだ少なく、一層の周知強化とともに事業効果の検証が必要になっている。

・高齢者地域活動団体補助金を活用した地域貢献事業へのネットワーク加入団体や高齢者クラブ以外の高齢者団体のからの相談や申請も増えており、活動意欲の向上につながっている。また、各団体が持つノウハウをいかした事業に、多くの区民が参加し、学びや体験の機会になっている。特に継続的に高齢者を対象に実施する事業は好評であり、地域の高齢者の外出や仲間づくりの契機となっている。

<令和6年度の取組み>

1. 「おたがいさま bank」と AI システム「GBER」を活用した

シニアマッチング事業の実施
(生活文化政策部)

○主旨 高齢者の経験や能力と講師などを求める団体を結び付け、高齢者の活動機会の充実と団体活動の活性化を図る。

・団体周知等を強化しながら、マッチング実績等を踏まえた事業検証を進める。

◆事業実施 (社福)世田谷ボランティア協会

◆事業費 7,376千円

2. 高齢者の地域活動団体による地域貢献活動への支援(拡充)

(生活文化政策部)

○主旨 高齢者の地域活動団体が、団体の能力や経験を活かし、主に高齢者を対象にする地域貢献活動への申請枠を拡充し、参加した高齢者等が地域とつながり交流できる機会を創出するとともに、実施した高齢者自身のいきがい感の向上を促進する。

・対象団体についても、令和7年度に向け拡充を検討する。

◆事業費 4,800千円

3. 高齢者クラブの活動支援

(生活文化政策部)

○主旨 地域を基盤とする自主的組織である高齢者クラブの活動促進を図る。

・高齢者クラブへの新規加入や新しいクラブの設立を促進するために、パンフレットの刷新や広報手段の工夫、また、高齢者クラブの設立基準の緩和に係る検討を支援していく。

(4)「知と学び」プロジェクト

<ビジョン>

高齢者の学びの意欲を増進し、孤立の防止と仲間づくりを促進するため、生涯大学やいきがい講座等既存の学びの場を踏まえ、講座内容や期間等の多様化を図り、学びの機会を拡充する。

【これまでの取組み】

いきがい講座の1つである代田陶芸教室にて、令和4年度から通年コースに加え、手軽に参加しやすい短期コースを土曜日に開催している。講座希望者の増加に対応し、令和5年度からコースを増やし定員を拡大している。

【評価・課題】

・60歳代の高齢者や男性、また夫婦での参加など、平日に行われている通年コースに参加しづらい新たな層の受講につながった。

<令和6年度の取組み>

1. 代田地区会館における新たな講座の提供

(生活文化政策部)

・通年講座に加え、手軽に参加しやすい短期間コース(月1回2時間・3回コース)を実施する。

◆事業実施 世田谷陶芸協会

◆事業費 1,078千円

(5)「就労・就業支援」プロジェクト

<ビジョン>

一人でも多くの高齢者が働けるようにするため、通常の就労に加え、シニアの経験や得意が活かせる短時間就労や単発の仕事など多様な就業マッチングが可能となるよう各事業を推進していく。



【これまでの取組み】

高齢者の就業に向けた施設・団体は(公財)世田谷区産業振興公社の三茶おしごとカフェ(「R60-SETAGAYA」)、(公社)シルバー人材センター、(株)世田谷サービス公社など各機関が特徴を生かし取り組んでおり、各機関の長所をより発揮できるように、地域特性や事業者開発情報を共有する会議の開催など総合的な連携枠組みの整備等に取り組んでいる。

【評価・課題】

・就業マッチングのための会議を通じた各機関との連携により、事業者とシニアそれぞれの特長の把握が進んだ。今後、高齢者の就労・就業をより一層促進するため、三茶おしごとカフェなど高齢者の就業に取り組む各機関の会議等で事業者開発の実践的な手法等を共有するとともに、各機関の長所をわかりやすく区民に示し、就労・就業を選択する高齢者を増やすため、取材記事等を掲載した冊子を作成するなど仕事のイメージの共有や魅力発信を行う必要がある。

<令和6年度の取組み>

1. 三茶おしごとカフェ(「R60-SETAGAYA」)、シルバー人材センター、

世田谷サービス公社など高齢者の就業に取り組む各機関の連絡会議

2. 取材記事等を掲載した冊子の作成

(経済産業部)

◆事業費 6,030千円

高齢者の地域参加促進施策 令和5年度実施状況（令和6年1月現在）

（参考）

プロジェクト名	内容		令和5年度		備考	
			実施状況	当初予算額		
居場所づくり	千歳温水プール健康運動室の利用者数		6,303名(4月~12月実績)		—	
	「なごみの広場ちとふな」プログラム主な実績	囲碁講座・スマホ講座・やわらぎマッサージ等	824名(4月~12月実績 84回実施)		7,588千円	プログラム委託事業者 (公財) 世田谷区スポーツ振興財団(千歳温水プール指定管理事業者)・(社福) 社会福祉協議会
	ひだまり友遊会館の利用者数		84,145名(4月~12月実績)		—	
	「とまり木ステーション」プログラム主な実績	大人の折り紙・大人の塗り絵・楽しく絵手紙等	510名(4月~12月実績 58回実施)		857千円	プログラム委託事業者 シダックス大新東ヒューマン株式会社(ひだまり友遊会館指定管理者)
	「代田地区会館」プログラム実績	楽しく陶芸	449名(4月~12月実績 18回実施)		1402千円	プログラム委託事業者 世田谷陶芸協会
	「寺町通り区民集会所」ぶんぶくテラマチの利用者数		999名(4月~12月実績 87回開催)		5,148千円	委託事業者 NPO法人 せたがや子育てネット
	居場所についての情報誌発行「いっぽ、外へ シニアお出かけスポット」		年1回発行		1,000千円	
健康づくり	地域における高齢者向け健康づくりの取組み支援	第2回 集まれ！みんなでラジオ体操	219名		2,220千円 ※スポーツ振興財団への補助金	10月7日に大蔵総合運動場陸上競技場において実施。
		介護予防普及啓発講座へのリコーブラックラムズ東京のプロラグビー選手及びスポーツ振興財団健康運動指導士の派遣	318名(4月~12月実績 19回実施) (※1月~3月 3回開催予定)			
	高齢者の団体活動時の健康づくりの定着支援「スキマdelげんき体操等」	高齢者クラブ：5サークル		2,044千円	プログラム委託事業者 世田谷区保健センター	
	介護予防事業	はつらつ介護予防講座	6,312名		26,204千円	プログラム委託事業者 世田谷区保健センターほか
		まるごと介護予防講座	774名		7,668千円	プログラム委託事業者 (株)ルネサンスほか
		お口の元気アップ教室	334名		7,663千円	プログラム委託事業者 世田谷区歯科医師会ほか
		せたがやデジタルポイントラリー	245名 (※松沢、用賀、祖師谷地区で試行実施 ※12月末時点の申込者数)		50,000千円	プログラム委託事業者 ジョージ・アンド・ショーン(株)ほか
大学連携	日本女子体育大学と連携し、健康と運動に関する講義及び身体機能測定を計7回実施	90名(4~12月までに6回実施) (※2月 1回開催予定)		345千円	開催場所 ひだまり友遊会館、上野毛地区会館、日本女子体育大学祖師谷地区会館、太子堂区民センター(予定)	
地域参加・地域貢献	「おたがいさまbank」とAIシステム(GBER)を活用したシニアマッチング事業の実施(高齢者の知識と経験等を活かした地域活動支援)		おたがいさまbank登録者 3,465人 AIシステム(GBER) 登録者 407人(うち高齢者100人) ボランティア募集 96件・マッチング 12件 (令和5年12月時点)		7,098千円	実施事業者 世田谷ボランティア協会
	高齢者の地域活動団体による地域貢献活動への支援		補助申請事業数 13件 (※うち令和5年12月末までに事業完了した3件 (シニア向けの生き方講演会など)の実績) 貢献活動者数：185人(延べ) 一般参加者数：314人(延べ)		3,000千円	
知と学び	代田陶芸教室における手軽に参加しやすい短期間コース(月1回2時間・3回)の実施		85人(各期定員32人)		917千円	委託事業者 世田谷陶芸協会
就労・就業支援	三軒茶屋就労支援センターでの総合的な就労支援		新規登録者数 918名(12月末現在)		—	
	(公社)世田谷区シルバー人材センターでの就労		会員数 2,855名(12月末現在)		86,436千円	
	R60-SETAGAYAの実施		新規登録者数 45名(12月末現在)		6,030千円	